

# Business & Handicapped

企業 × 福祉 × 教育 × 行政をつなぐ 障がい者雇用情報紙

2  
Feb.  
2017



「雪こんこ」太田 圭亮  
詳細は裏面 >>

## 今月の Leading company 障がい者雇用の先進企業紹介



障がい者雇用取り組みの中心メンバー  
左から総務部長松村さん、鴻巣さん、主幹近藤さん

ここで働く障がい者は現在3名。中でも知的障がいをもつ吉田直樹さん(19)は、技術力が必要とされる製造現場で活躍しています。

同一作業の少ない職種では、障がい者雇用は難しいと考える経営者が少なくない中で、同社がどう取り組んだのかを伺いました。

受注生産現場での障がい者雇用に挑戦

岐阜県高山市に本社を構え、最新のプロフィール研削盤などのマザーマシン(工作機械)を製造する「和井田製作所」。昨年設立70周年を迎えた飛驒の老舗企業です。

同社の特長でもあり強みでもあるのが、個別受注・多品種少量生産。ライン生産ではつくることのできない技術工程をいくつも重ね、高精度の製品を生み出しています。

## 多品種少量生産の工場で、障がい者雇用を実現

株式会社 和井田製作所 高山市 障がい者雇用数3名(うち重度1名)

「もちろん、我々のような多品種少量生産の工場で、実現できるのか不安が多かったのも事実です。そこで、最初に行ったのは、社員全員に障がい者雇用について知ってもらうこと。経営者、管理者、現場の全員に理解してもらうことが、第一段階でした。」

「平成26年までの3年間、障がい者雇用はゼロでした。企業の社会的責任を果たすためにも、取組みを進めたいと考えていました。でも自立支援につながる責任ある雇用をしなければなりませんし、また、仕事のミスマッチも避けなければなりません。」

こう話すのは総務部長の松村さん。雇用に関心を持ち、現場を引き込んだ議論を繰り返したと言います。

「せっかく働いていただくなら、サポート業務だけでなく製造現場の中心で活躍してほしいという思いが強く、社内で検討を重ね、現在の形に至っています。」

仕事のミスマッチをなくすため、適材適所への配置に徹底してこだわったそうです。

(裏面へ続く)

### 社内理解こそ成功への第一歩



プロフィール研削盤SPG-W  
最高品質、生産性で金属を削る国際モデル





吉田さんの働く、製品一課のメンバー  
左から坂上さん、谷倉さん、吉田さん、指導担当土島さん

現場を訪れると、吉田さんは手で金属表面を平らにするキサゲ作業の真っ最中。眼差しは真剣です。しかし皆さんとの撮影をお願いすると現場は和気あいあいとしたムードとなり、仲の良さも伺えました。

「吉田さんは集中力があり、根気や正確さを求める仕事にはびったり。受け入れ現場も巻き込んだ検討を重ねた結果、製造現場で彼の個性が十分発揮されています。」

総務課主幹の近藤さんはこう話します。  
「吉田さんの場合、特別支援学校時代から4回職場実習に来ていただき、社内で検討を繰り返しました。仕事のミスマッチはモチベーションがダウンし、離職に直結します。弊社は定年まで働いてもらうことを目指しておりますので、そこにこだわりました。」

現在、吉田さんの仕事は、機械組立て全般。いくつも工程をこなしています。

定年までの継続雇用を目指して

# 相乗効果を生んだ徹底的な話し合い

CLEAR STREAM JOB-COACH

徹底した準備とミスマッチを防ぐ適材適所の配置が、同一作業の少ない職種では難しいとされる、障がい者雇用を実現しました。

総務課の鴻巣さんは、準備段階から全面的に障がい者雇用にかかわった一人。  
「障がい者雇用に関する知識のない、ゼロからのスタートでした。様々なセミナーを聞き、障がいを「個性」と捉えることが、いかに重要かを学びました。一人ひとり違う個性を理解し、見極めることが、一番難しかったですね。でも今は挑戦してよかったと実感しています。」

吉田さんの雇用に当たっては、現場と総務課で徹底した仕事の洗い出しや見直しが行われました。その結果、仕事の効率化にもつながったと言います。さらに社員教育や、チャレンジ精神の育成にも役立ち、多くの相乗効果がありました。

## 社内全体のモチベーションもアップ



キサゲ作業に取り組む吉田さん

## SCHEDULE スケジュール

### 障がい者就職合同面接会 東濃(多治見)

障がい者が希望すれば、支援者が面接に同席します。事前面談も行い、中立的立場で企業との橋渡しを行なうことで、円滑な意思疎通を支援し、採用後の連携もしやすくなります。

2/22(水)

14:00~16:30 パロー文化ホール(多治見市文化会館)

### 働く障がい者セミナー

定着を目標に、障がい者向けのセミナーを行います。県内5つの地域で毎月1回、年間計12回開催。思いを共有します。

2/25(土) 13:30~15:30 パロー文化ホール(多治見市文化会館)

3/11(土) 13:30~15:30 大垣市情報工房

### 岐阜県障がい者雇用企業支援センター最終報告会

事業報告と次期目標に加え、障がい者雇用の展望を届けます。

3/6(月) 岐阜県障がい者総合相談センター

※スケジュールは変更になる事があります。

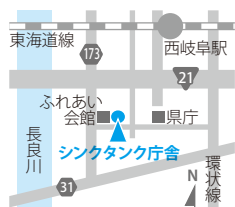


## Art& Handicapped

今月のアート

表紙では、毎月障がい者のアートを紹介しています。今月の作者-太田 圭亮さん(各務原市)は、あしたの会共働学校(就労継続支援B型)に通いながら、絵を勉強しています。心の中の描きたいものを、思いのままに楽しく描いています。

「雪こんこ」太田 圭亮



## 岐阜県障がい者雇用企業支援センター

〒500-8384 岐阜市藪田南5-14-12 シンクタンク庁舎2階

- ・岐阜駅から-岐阜バスで約20分「ふれあい福寿会館前」下車
- ・西岐阜駅から-くるくるバスで約12分「県民ふれあい会館前」下車

利用時間 月~金 9:00~18:00(祝日・年末年始は除く)

岐阜県障がい者雇用企業支援センターは、岐阜県が委託により運営する企業の皆様の障がい者雇用を支援するセンターです。



TEL: 058-215-0582

FAX: 058-215-0583

E-mail center@shougaiikigyoshien.jp

URL http://www.shougaiikigyoshien.jp